

会 報

48号



【有害鳥獣捕獲隊】

令和7年度
一般社団法人 埼玉県猟友会

表紙写真の説明

活躍が期待される女性ハンター

写真は、飯能市内で実施された有害鳥獣の捕獲隊の様子です。新人ハンターの育成も兼ねており、当日は、女性6名を含む参加者が計3頭のニホンジカを捕獲しました。

「森の番人」とも称される狩猟者（ハンター）は、高齢化に伴い年々減少しています。森の健全な維持や、地域住民の安全・安心を守るためには、次世代を担う人材の育成が喫緊の課題です。

こうした中、県猟友会では女性構成員の増加が見られます。今後もこの流れを継続し、女性がより活躍できる環境づくりが求められています。

以下に、現在活躍中の女性構成員をご紹介します。



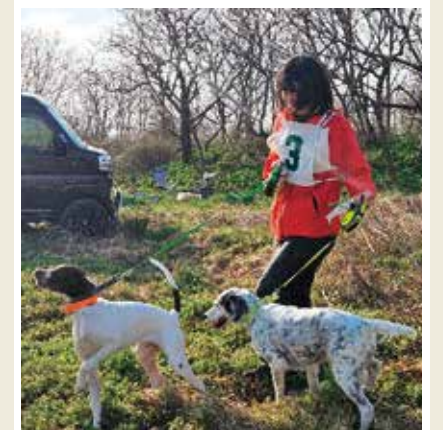
《竹内 恵美子》

日高猟友会長
東京大学大学院で農学を専攻。
現在、埼玉西部アライグマ対策協議会の代表として、外来生物対策にも尽力



《山田 智子》

安全狩猟射撃埼玉県大会・女性の部で3年連続優勝
昨年度の全国大会では、団体戦で全国第3位に輝く



《齊藤 りね》

猟犬競技埼玉県大会で2年連続優勝
現在、セターとポインターを育て、希少となりつつある鳥獣の現場で活躍

